

# 会 報

＜第366号＞

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日:平成28年4月1日

- 目次 ◎ 第446回月例会報告 『異文化コミュニケーション』  
講師 (株)リンク グローバルソリューション  
シニアコンサルタント 黒田 高之氏・・・1～3頁
- ◎ 見学レポート 『太山寺 安養院庭園』 事務局・・・3～4頁
- ◎ お知らせ・・・4～5頁
- ◎ 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済基金、ひょうご憩の宿・・・6～7頁

## 第446回月例会報告

テーマ:『異文化コミュニケーション』

講師:(株)リンク グローバルソリューション

シニアコンサルタント 黒田 高之氏

日時:平成28年3月10日(木) 12時～14時

会場:神戸三宮東急REIホテル

### はじめに ～異文化研修は時代の要請～

「異文化コミュニケーション」研修の先導的役割果たしてきた当社は、元々スウェーデン資本の総合エンジニアリングカンパニー「ガデリウス」内での社内教育機関から始まった。この設置経緯は、社員が英会話能力に比して、会議での消極的運営に悩んだスウェーデン人社長が、



講師:黒田高之氏

「異文化コミュニケーション」の徹底教育を図ったことに始まり、さらに、これを外売りする子会社「インテックジャパン」を設立した。平成元年のことであった。

自身は、原子炉用部材の製作、施工をしていたが、この事業の先行き不透明感から転身を図り、結果、この会社を買い取り独立した。

初期の営業段階では、各企業は「異文化コミュニケーション」の大切さを自覚しながらも、研修費負担を渋り苦労したが、松下電工のサポートもあり、理想の研修体系に成長させてきた。

現在、日本企業は国内マーケットの縮小から海外移転が必須となり、このような研修が求められるところとなり、その後、グローバル化の必要性を考えていた研修機関大手の「リンク モチベーション」の傘下に入ったものである。

### 1 文化はメンタル・プログラム

文化とは何かを考えたい。

日本人は、「文化」というものを、普段から余り意識しなくても済んでいる。それは、日本が島国であり、均質な文化の中で育ち、いわば温室の中で生活しているようなものだからである。一方、アメリカのように異民族が混在する文化のるつぼ状態な国では、日常的に異文化を意識しながら生活しないとイケない。

文化とは、人間に特有なもので、これは、猿とか、鳥とかに文化はない。人間と猿の違いは、言葉をシンボル化してコミュニケーションができることにある。シンボル化とは、例えば「赤い色」、これは日本人が赤いものを見て「赤い色」と言っているだけで、これをシンボル化という。

人間は、生まれて人間として育てられ、そして親、周囲の環境から学び、人間になっていく。文化を少しずつ教えられ、身につけていく。パソコンが、ただの箱状態から必要なアプリケーションを次々インストールされていくのと同じである。

つまり、日本に生まれ、日本人に育てられたから日本人だが、生後すぐにアメリカ人にも生まれ、アメリカで育てられれば、これは立派なアメリカ人となる。

男・女、既婚・未婚、スポーツが好き・嫌い、そのような様々なフィルターが重なり合い、独自のトータルアイデンティティというのが出来上がり、それが個々の文化となる。このようにして備わった文化が人間をコントロールする。前述のパソコンのプログラムのようなもので、結局、自分自身に備わってきたプログラムにより、考え方や行動がコントロールされてくる。

これが人のメンタル・プログラムという所以である。

そして、文化は変化するもの、戦国時代と今を比較すれば400年を経て文化が変化してきていることがわかる。現在のその変わり方の速度は、400年前と比べれば非常に速くなっている。

### 3 異文化を理解するためのキーワード

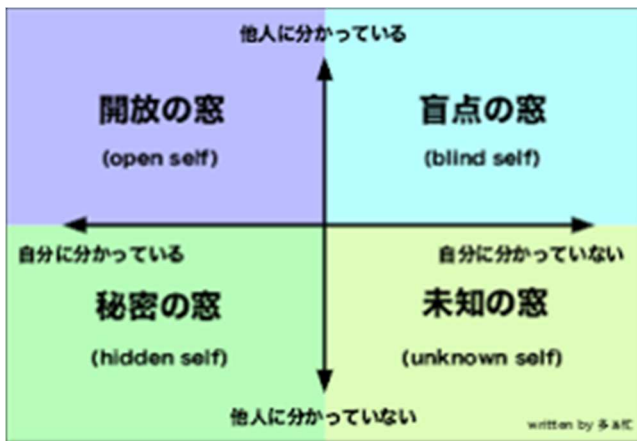
異文化を理解するためのキーワードを3つ紹介する。

#### ① 客観性

同じ文化のグループの中にいる場合、客観性は余り必要でない。文化の違う相手と話をする時には重要になってくる。

下の図は「ジョハリの窓」。

自分をどのように公開乃至隠蔽するかという、コミュニケーションにおける自己の公開とコミュニケーションの円滑な進め方を考えるために提案されたモデル。(Wikipedia : 事務局注)



「ジョハリの窓」

『開放の窓』は、“自分にも他人にも分かっている姿”で、この領域が大きいと誤解のない円滑なコミュニケーションができる。

『秘密の窓』は、“自分に分かっているが、他人には見せない姿”で、この領域が大きいと、他人とのコミュニケーションが不自然になりがちとなる。

『盲点の窓』は、“他人に分かっているが、自分には分かっていない姿”で、「あの人自分では気づいていないけど、〇〇だよ」などと言われる部分である。

『未知の窓』は、“自分にも他人にも分かっていない姿”で、この部分があるから人生は楽しい。無限の可能性を秘めている。

個々人に、この4つの窓が必ず存在する。自己開示を大きくし、客観性のアンテナを働かせ、相手からのフィードバック（表情など）を敏感にキャッチすることで開放の窓が大きくなって相手とのコミュニケーションが向上していく。

#### ② 金子みすず

金子みすずは、異文化の達人だと思う。私の好きな『私と小鳥と鈴と』という作品を紹介する。

「私は飛べないけれども、小鳥は私のように速く走れない。私が体を揺すっても鈴のようにきれいな音は出ないけど、鈴は、私のようにいろんな歌を知らないよ。」そして、最後に「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」と言っている。

客観性をもって相手を受け入れ、リスペクトしている。これが異文化を受け入れる一番大事な精神だと言える。

#### ③ 多様性とシナジー効果

多様性は大事だと言われる。

しかし、自分が相談できる友人を思い浮かべた場合、同性、同年代、同学歴といったように多様性は全くない。結局、多様性というのはしんどいのがわかる。そのため、みんな普段は多様性を避けようとしている、無意識に多様性を避けようとしているところがある。しかし、これからのグローバル社会に向けて多様性の大事さを認識する必要がある。

### 4 文化によって変わるコミュニケーションのスタイル

異文化コミュニケーション研修テーマの代表的なものを、6例紹介したい。

#### ① 異文化マインド設定

客観性の大切さを強調して理解していただく。

中国人はこう、韓国人はこうといったように、異文化を大ざっぱにつかむときに、紋切り型で判断しがちである。しかし、一人ずつ文化は違うことを理解することが必要である。

仕事をするうえで、相手を客観的に読み、自分自身がどうかと判断して、自分と相手とその文化のスケールの中でどれだけ離れているのか、どれだけ近いのかということを理解した上で、自分が歩み寄るのか、相手に合わせて貰うのか、中間をとるのか、を考えていくことになる。

#### ② 会議スタイル

教育様式が会議スタイルに反映している。

「孔子スタイル」は、先生から知識をもらう、受け取るというもの。

「ソクラテススタイル」は、先生はいるが、先生自体はファシリテーターで、役に立つ存在であるが、みんなディスカッションし、みんな考えていこうというもの。

このスタイルの差が、会議に表れ、日本人は、黙ってみんなの言うことを聞いている。言いたいことは、根回しやら居酒屋で話をしながらということになる。

だが、ソクラテス式の欧米のスタイルというのは、会議とは何かを決める場であり黙っているのは時間、金の無駄であり、積極的に話し合う。

### ③ 個人主義・集団主義

日本人は、「アメンバー式」と言われ、集団的に支え合いながら仕事をやる。誰がこの仕事をするとはっきり決まっていなくて、よくできる人がいっぱいやっているというような感じである。

欧米式は「テトリス型」。例えば、Aさんであればこの箱（記述書に書かれた責任範囲）の仕事だけをやり、隣の箱の仕事はやらせない。それはよその人の仕事であり、その人の評価に関わることになるためやってはいけない、となる。

そのため、求人においても求める能力を明示する必要がある。

### ④ 時間感覚

ドイツ人は、スケジュールとか、時間に厳しいと言われる。会議を30分と決めれば、結論が出てなくても、その時間になればピタッと終わるところがある。人間関係よりも時間を大事にする。

逆に、ブラジル人は、時間の約束をしても、待てど暮らせど顔を出さないケースがしょっちゅうある。その理由は、ブラジル人は人間関係を大事にするため、友人と大事な用事ができればそれを優先するところにある。

### ⑤ 権力格差

これは上司と部下の関係で、これに格差が多いか少ないかの問題である。

スウェーデン人は、例え社長であっても、皆の意見を求め、皆で相談して決めようとするスタイルで、フラットな関係である。この対角線が軍隊のような組織である。

### ⑥ ハイ/ローコンテクスト

最後に最も大事なものを紹介したい。

ハイ/ローコンテクストといい、コミュニケーションに非常に大事な要素である。要は、日本人というのは空気を読んでコミュニケーションができ、これを「ハイコンテクスト」という。

「ローコンテクスト」というのはこの逆で、言葉どおりにしか相手に伝わらない。10言いたいことあれば12ぐらい言わないとダメというのがアメリカ的な文化である。日本人の場合には、1を言えば10ぐらい知ってくれるが、このような文化の大きな違いを知っておく必要がある。

### おわりに

結局、一番大事なものはコミュニケーションですね。何回も言って恐縮ですが、夫婦間がうまくいかないのは、コミュニケーションが欠けているからです。相手の思っていること、言いたいことを聞き出す。客観的に「相手から自分はこういうふ

うに見えているのか」というのを理解し合っていくのが大事なんです。

そのためには、コミュニケーションの能力が必要で、かつ問われるところです。

月例会風景



### 見学レポート

見学先：安養院庭園（神戸市西区伊川谷町前開）  
国指定文化財名勝（昭和52年2月19日指定）

寺院名：三身山太山寺塔頭安養院

庭園様式：枯山水庭園

作庭時代：安土桃山時代

### ○ ゴールデンウィークに公開

昨年11月、洲本市の益習館の見学研修後、丁度公開がされているとの情報で、事務局から車で15分ほどの距離にある太山寺（天台宗・716年創建）の塔頭（たちゅう）寺院「安養院」の庭園を見学に行ってきました。

普段は非公開で、11月15日から30日、4月27日～5月5日の期間のみ公開されています。太山寺はよくご存知でしょうが、意外とその参道の右側に連なる安養院と成就院の庭園が名勝とはご存知ないのではと思います。（成就院は非公開）

### ○ 安養院庭園は国指定文化財名勝

安養院の入り口の案内板から抜粋して庭園を紹介します。

『太山寺塔頭の一院である安養院の庭園は、阿弥陀堂や原生林（県天然記念物）を借景として造られた県下でも最古に属する庭である。』

『庭園は書院の前庭となっている。正面に築山、中心に巨石を立て蓬萊山とする。』

枯滝を3か所に組み、涸流れによって洞窟の下部に導き、溪谷に石橋を架けるという構成である。本庭は県下を代表する古庭園の典型として優秀であり、日本の伝統的庭園の歴史を伝える上で貴重である。平成6年3月神戸市』

西桂氏著の「兵庫県の日本庭園」によると、この『書院や庭園は、無住時代や大震災で荒れていたものを、平成八年に庭園を整備し、平成九年に神戸市北区の民家の茅葺住宅を移築して書院も再建された』とあります。

また、『枯滝の後方に板状の立石を弓状に五か所に立てているが、これは周囲の自然の山々を立石で表しており、周囲の環境をモチーフに特徴ある



安養院の表門

創作が見られる。この庭に使われている石組は全て花崗岩で、原生林の中にある花崗岩の岩場から運ばれたもので、『六甲花崗岩の西端に当たる』とあり、庭の景観、石の採取など、太山寺周辺と一体となった作庭のコンセプトであったようです。



「安養院庭園」

左上部の巨石が蓬莱石兼亀甲石  
中央が枯滝と洞窟、石橋



書院から庭を望む

**(注) 塔頭(たっちゅう)とは**

禅宗寺院では、祖師や高僧の死後にその弟子が師の徳を慕い、大寺・名利に寄り添って建てた塔(多くは墓塔)や庵などの小院をいう。

時代を経て、大寺の中に小庵を結び住む者が現れたが、一禅僧一代限りのものであった。

日本に伝わり永続的施設となり、安土桃山時代には、大名などが教えを受ける僧の隠居所を寄進して小寺院とする例が増え、これも塔頭とされ、寺院の位置づけに加え住居としての側面を持つ。(Wikipedia より)

**お知らせ**

◎行事開催結果、ご案内

① 平成27年度第2回理事会

平成27年度第2回役員会(兼理事会)がさる3月17日に神戸市勤労会館で開催され、平成28年度の事業計画及び予算が成立しました。また、創立70周年記念事業方針についても承認されました。

詳細は5月23日に開催されます定時総会においてご報告いたします。



② 平成28年度第1回理事会

議題：平成27年度決算ほか  
日程：平成28年4月14日(木)  
13時30分～15時  
会場：兵庫県民会館 亀

役員様にはご予定よろしく申し上げます。

③ 平成28年度通常総会

議題：平成27年度決算ほか  
日程：平成28年5月23日(月)  
17時00分～20時(予定)  
会場：神戸三宮東急REIホテル

会員皆様のご参加よろしく申し上げます。

④ 第448回月例会

テーマ：兵庫県の住宅・建築関係の主要施策  
講師：兵庫県県土整備部住宅建築局長  
日程：平成28年6月16日(木)  
12:00分～14:00

会場：西村屋和味旬彩

4月下旬のご案内です。

◎ 特別会員の動向：4月1日付(3月30日までの届出分)

◀兵庫県県土整備部関係> (敬称略)

- まちづくり部長 笠尾 卓朗 退会  
→国土交通省へ
- ←新 小南 正雄(住宅建築局長)
- 県土企画局長 尾田 博明 退会  
→まちづくり技術センター副理事長へ
- ←新 衣笠 達也(西播磨県民局参事)
- まちづくり局長 貝塚 史利 退会  
→北播磨県民局長へ
- ←新 奥原 崇(国土交通省より)
- 住宅建築局長 小南 正雄  
→まちづくり部長へ
- ←新 福本 豊(建築指導課長)
- 県土企画局総務課長 廣田 俊彦 退会  
→阪神北県民局副局長へ
- ←新 大谷 俊洋(しごと支援課長)
- まちづくり局土地対策室長 小幡 和義  
→総務課参事(住宅供給公社総務部長)へ
- ←新 森田 智裕(河川整備課副課長)
- 同 都市計画課長 西谷 一盛  
→住宅政策課長へ
- ←新 佐々木 貴弘(国土交通省)
- 同 市街地整備課長 藤井 望  
→建築指導課長へ
- ←新 柴田 和弘(教委財務副課長)
- 住宅建築局住宅政策課長 谷山 拓也 退会  
→国土交通省へ
- ←新 西谷一盛(都市計画課長)
- 同 住宅管理課長 山下 孝文 退会  
→職員課長へ
- ←新 蔭山 晶彦(都市政策課副課長)

同 建築指導課長 福本 豊  
 →住宅建築局長へ  
 ←**新** 藤井 望 (市街地整備課長)  
 丹波土木事務所まちづくり参事 足立寿伸  
 →退会 企業庁へ  
 ←**新** 達可 明朗 (道路保全課)  
 洲本土木事務所まちづくり参事 松井三思呂  
 →退会 下水道課長へ  
 ←**新** 赤曾部 利則 (企業庁)

《農政環境部》

環境部長 梅谷 順子  
 →兵庫県理事〈地域創生・女性担当〉へ  
 ←**新** 秋山 和裕 (環境管理局長)

《兵庫県関係団体》

兵庫県住宅供給公社住宅整備部長  
 松尾 憲和 退職  
 ←**新** 福澤 静司 (営繕課副課長)  
 兵庫県まちづくり技術センター 理事長  
 濱田 士郎 退職  
 ←**新** 田中 稔 (県土整備部長)  
 同 常務理事 森口 昌仁 退職  
 ←**新** 松本 正利 (宝塚土木所長)  
 兵庫県文化協会理事長 木村 光利  
 → 同 副会長へ  
 ←**新** 山本 亮三

《神戸市》

住宅都市局長 山崎 聡一 退職  
 ←**新** 岩橋 哲哉  
 同局 建築指導部長 浜田 有司  
 → 住宅指導担当局長へ  
 同局 建築指導部 安全対策担当部長 鳥田 正明  
 →長田区長へ  
 ←**新** (課長級へ) 同部安全対策課長 東 和恵  
 同局 同部 建築安全課長 金本 忠義  
 →同局 同部 空家・空地対策担当部長  
 ←**新** 山田 章子  
 同局 建築技術部 建築担当部長 根岸 芳之  
 →神戸すまいまちづくり公社住環境再生部長  
 ←**新** 奥村 由和  
 同局 同部 設備課長 高木 泰幸  
 → 同局 同部 設備担当部長  
 ←**新** 政井 栄久

《姫路市》

姫路市都市局まちづくり推進部  
 まちづくり指導課長 樽井 誠→工事技術検査室へ  
 ←**新** 塩崎 哲也

特別会員には春の定期異動で多くの方が転任や退職により、退会となりました。この間のご指導、ご協力に感謝申し上げ、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

◎ 花だより

昨年11月の見学研修「洲本まち歩き」を案内いただいた武本浩己氏(まちづくりガーデナー)から、春に相応しい花だよりがありました。  
 第14回「あわじオープンガーデン」が60邸参加して全島で開催されるとの案内です。日程(4月は23、24日)概要は下記でご確認ください。

<http://www.geocities.jp/phototsuda/>

ガイドブックは淡路島内のファミリーマートで販売されています。ご自身も山野草を中心に参加されており、この時期開花中の一例と地域の菜の花畑の様子の紹介がありました。(洲本市大野地区)



ホタルカズラ



ニホンサクラソウ



洲本八景・菜の花畑と先山

桜も本番を迎えています。論鶴羽ダム(南あわじ市)のソメイヨシノ、ヤマザクラが満開の春爛漫の写真(2014年4月4日榊 幹夫氏撮影)も添付されていました。「吉野の山にも劣らない景観」とのことです。この時期に如何でしょうか。



事務局 : 谷 純夫、石井滝実子  
 電話 : 078-996-2851  
 FAX : 078-996-2852  
 Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)

## 兵庫県建築会の皆様へ

# 住まいの備え・大丈夫？

### ◆迫る・南海トラフ地震

30年以内の発生確率70%  
県内の住宅被害・全半壊21.5万棟  
阪神・淡路大震災に耐えた家、  
実は危ない!?

巨大化する  
台風

近づく  
大地震

増える  
ゲリラ豪雨

### ◆頻発する水害・土砂災害!

平成16年からの11年間で2万棟!

兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」

## フェニックス共済

あらゆる自然災害の“もしも”に備えます

住宅をお持ちの方

### 住宅再建共済制度

年額5,000円で  
最大600万円給付

一部損壊特約

年額500円で  
補修時等、  
25万円給付!

住宅にお住まいの方

### 家財再建共済制度

年額1,500円で  
最大50万円給付

フェニックス共済



公益財団法人  
兵庫県住宅再建共済基金  
(コールセンター)  
☎078-362-9400  
(平日 9:00~17:00)

制度創設10周年



フェニックス共済 検索

申込書付きパンフレットは、郵便局や県民局、県民センターなどに  
ございます。

兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>

# ひょうご憩の宿

## 「一般社団法人 兵庫県建築会」会員様ご優待案内

優待内容：1泊2食基本料金（飲み物・追加料理は含まない）の5%割引。  
ただし、1泊2食10,000円(税別)未満については3%割引。  
\*各施設における特別企画商品は対象外。

ご利用に当たっては、必ず優待券をご持参下さい  
(ご利用は本人及びその家族に限らせて頂きます)

「どなたでもご利用頂けます」  
「ひょうご憩の宿」は、勤労者をはじめ高齢者、ハンディキャップをお持ちの方などが、安心してご利用頂けるグループです。

私たち「ひょうご憩の宿」は、兵庫県内に5カ所の施設があり、ご宿泊・会議研修・ゼミ・スポーツ合宿・サークル活動・レクリエーションなど若者からシニアまで目的に合わせてご利用頂けます。

**いこいの村 はりま**  
加西市笹倉町823-1  
0790-44-1750

アクセス 中国自動車道加西ICから5分  
山陽自動車道加古川ICから20分

URL <http://www.ikoinomura-harima.jp>

**新たんば荘**  
篠山市郡家451-4  
079-552-3111

アクセス 舞鶴若狭道丹南篠山ICから10分

URL <http://www.tanbaso.jp>

**赤穂ハイツ**  
赤穂市尾崎向山2470-64  
0791-48-8935

アクセス 山陽自動車道赤穂ICから15分

URL <http://www.ako-haitsu.jp>

**六甲保養荘**  
西宮市越水社家郷山1-95  
0798-73-1351

アクセス 阪神高速神戸西宮出口から20分

URL <http://www.rokko-hoyoso.jp>

**津名ハイツ**  
淡路市志筑162  
0799-62-1561

アクセス 神戸淡路湾門自動車道 津名一宮ICから5分

URL <http://www.tuna-haitsu.jp>

**ひょうご憩の宿グループ**  
一般財団法人 ひょうご憩の宿  
〒650-0011兵庫県神戸市下山手通6-3-28  
電話 078-381-5250 FAX 078-381-5255

ひょうご憩の宿HP → <http://www.hyogo-ikoinoyado.com/>

### 《建築会事務局より》

- 1 次の優待券を会員に配布します。(企業・団体名は(一社)兵庫県建築会と記載してください。)
- 2 利用される時には必ず利用者名を記載の上、チェックイン時にフロントに提出して下さい。
- 3 優待券の利用の開始は平成28年3月1日からです。

安養院書院から太山寺三重の塔



## ひょうご憩の宿グループ

### 契約企業・団体様限定 宿泊優待券

チェックイン時に、必ずフロントにお渡し下さい。

優待内容：1泊2食付基本料金(飲み物・追加料理は含まない)の5%割引。  
ただし、1泊2食10,000円(税別)未満については3%割引。  
各施設における特別企画商品は対象外。

ご予約につきましては、ご希望の施設へ直接お電話下さい。

企業・団体名			
利用者名	利用者数	名	

ご利用は本人及びその家族に限らせて頂きます。